

2025 年 3 月 5 日

March 5, 2025

学生・教職員各位

To all students and faculty staffs

藤田医科大学 精神・神経病態解明センター

センター長 貝淵弘三

令和 7 年度

第 1 回 FUJITA ブレインサイエンスセミナー 開催通知
Information on FUJITA Brain Science Seminar 2025

◆ **演者：沓村 憲樹 先生**

(筑波大学 数理物質系／国際統合睡眠医科学研究機構)

「睡眠/覚醒を制御する低分子化合物の創製研究」

Noriki Kutsumura (Faculty of Pure and Applied Sciences /
International Institute for Integrative Sleep
Medicine, University of Tsukuba)

-Research on the Development of Small Molecule Compounds
Controlling Sleep/Wakefulness-

日時: 2025 年 4 月 17 日 (木) 17:00 - 18:00

Time and Date: Thursday, April 17, 2025, 17:00-18:00

場所:オンライン (Zoom) 開催

This seminar will be held online

受講対象者：学内外にかかわらず、どなたでもご参加いただけますが、生命科学について大学学部生程度以上の知識をお持ちであることが望ましいです。

参加方法：下記サイトより必ず事前登録してください。

このミーティングに事前登録する：

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/SYOrOxidSFSQwb44ew4Wcg>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

使用言語: 日本語

Language: Japanese

講演要旨：

本講演では、オレキシン 2 受容体選択的作動薬の創製研究と塩誘導性キナーゼ 3 (SIK3) 選択的リガンドの創製研究について、有機合成化学者の視点で講義する。前者については、世界初のナルコレプシー根本治療薬の開発を目指しており、ヒット化合物からリード化合物への構造最適化研究を中心に解説する。一方、後者はもっと序盤の研究段階にある。SIK3 を選択的に活性化あるいは阻害する化合物を見出し、それを用いて in vivo 評価を行うことで SIK3 の詳細な機能の解明を目指している。SIKs はオレキシン受容体ほど生体内での構造情報やリガンドとの結合情報について解明されていないことから、SBDD ではなく、LBDD により研究を進めている。本講演では、有機合成化学者がどのようなことを考えて薬理評価を実施する研究者と組んで創薬研究を進めているのか等、本音の部分も含めてお伝えしたい。

担当者連絡先：

・講演内容に関して

佐野 裕美（精神・神経病態解明センター 内線： 9379 メール：hiromi.sano@fujita-hu.ac.jp）

・その他

鶴田 未奈子・池田 彩乃（研究支援部 研究支援課 内線：2641 メール：icbs@fujita-hu.ac.jp）